



## 財政破綻と新しいマネーシステムへの移行

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

日本国の国家財政は、完全な破綻状況である。これは国債の発行に対して買い手がつかないのであり、日本銀行における買い入れはこれを表すのである。

これはゼロ金利政策における、海外との金利差は、海外への資金の流出を与えるのである。これらは資本の移動が金利差においてグローバル化した世界においてその利益を求め、移動するのである。

これらは負のスパイラルが、存在するのである。企業はこれを理解しなくてはいけない。それは国家という基盤を失うとき、企業の存続は存在しないのである。

これらは現状の財政支出が返済の目処がないことにおいて、現状を理解すべきである。新規財政支出を有することにおいて、デフォルトにおける解決と新規デジタルマネーシステムへの転換は未来の現実として、考慮すべきである。

これらはグローバル化した視点で、経済を理解することを求める。次世代社会への転換は、デジタル産業と共に現実の革命的变化を有するのである。

これらは資本力と技術システム力において、世界を理解することを提案する。これらは明らかに新しい未来を模索しているのである。

これらは経済安全保障が国家において軍事的要因と共に必要英を有することを証明する。経済戦争は明らかに存在するのである。

経済のグローバル化は、勝者における世界の再構築であることは正しいのである。

世界はデジタル通貨への転換を有する。これら新規マネーシステムは、自国の独立性を求められるのである。

これら全ての経済要因は、世界におけるトッププレゼンスが、新しい世界の創造を有することともに、未来への変化を模索しているのである。